

令和＊年久留米工業大学前期外国人留学生選抜試験

日本語（105 分）

SAMPLE

問題 Part1 文字・語彙

問題 A（漢字読み）

傍線部のことばは、どう読みますか。1・2・3・4 から最もよいものを一つ選びなさい。

■問 1 この地域の産業の振興について、具体的な計画が立てられた。

1. しんこう
2. せんこう
3. じんこう
4. そんこう

■問 2 彼は常に謙虚な姿勢で、誰に対しても丁寧に接する。

1. けんきょ
2. けんじょ
3. こきょ
4. こじょ

■問 3 大雨の影響で、川の水が濁っている。

1. にごって
2. だくって
3. すすって
4. しずんで

■問 4 彼は優れた技術を持っているが、それを誇示することはない。

1. こじ
2. こし
3. こじつ
4. こじゅ

■問 5 貴重な文化財を後世に継承していくことが、我々の使命だ。

1. けいしょう

2. きしょう
3. けいじょう
4. きじょう

問題 B（表記）

傍線部のことばを漢字で書くとき、最もよいものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

■問 6 この問題の解決には、じんそくな対応が求められる。

1. 神速
2. 迅速
3. 人速
4. 尽速

■問 7 新しい機械を導入し、作業のこうりつを上げた。

1. 効率
2. 公立
3. 好率
4. 高率

■問 8 彼の絵には、独特のふうあいがある。

1. 風合
2. 風愛
3. 不合
4. 怖合

■問 9 この件に関するごいけんをお聞かせください。

1. 囲碁
2. 違憲
3. 意見
4. 威厳

■問 10 大地震にそなえて、食料や水を準備しておく。

1. 備えて
2. 揃えて
3. 供えて
4. 副えて

問題 C（語形成）

（ ）に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

■問 11 あのレストランは人気があるので、予約して行く（ ）がよい。

1. こと
2. ほう
3. もの
4. ところ

■問 12 地球温暖化は、世界（ ）の課題となっている。

1. 的
2. 風
3. 性
4. 観

■問 13 このプロジェクトの参加者は、（ ）勢 100 名を超えた。

1. 全
2. 総
3. 大
4. 実

■問 14 田中さんは、いつも時間（ ）に行動する人だ。

1. ばかり
2. だけ
3. どおり
4. のみ

■問 15 この薬は、子どもの誤飲を防ぐため、開け（ ）ふたになっている。

1. がちな
2. やすい
3. づらい
4. かねる

問題 D（文脈規定）

（ ）に何が入りますか。1・2・3・4 から最もよいものを一つ選びなさい。

■問 16 彼は私の頼みを（ ）断った。

1. あっさり
2. ぐったり
3. がっかり
4. しっかり

■問 17 会議で、いくつかの改善案が（ ）された。

1. 提示
2. 指示
3. 展示
4. 表示

■問 18 このあたりは、夜になると（ ）なので、一人で歩かないほうがいい。

1. 物騒
2. 無事
3. 平穏
4. 安易

■問 19 先生は、学生たちのどんな質問にも（ ）に答えてくれる。

1. 快適
2. 軽快
3. 丁寧

4. 自慢

■問 20 彼は、自分の意見が正しいと（ ）、少しも譲ろうとしない。

1. 言い張って
2. 言い出して
3. 言い添えて
4. 言いかけて

■問 21 何度も失敗して、もうだめだと（ ）かけたが、友人の励ましで続けることができた。

1. あきらめ
2. ためらい
3. いどみ
4. なやみ

■問 22 この問題は複雑で、簡単には（ ）できない。

1. 解決
2. 解放
3. 解剖
4. 解読

問題 E（言い換え類義）

傍線部のことばの意味に最も近いものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

■問 23 彼の計画は巧妙だ。

1. あざやかだ
2. たくみだ
3. 大胆だ
4. 独特だ

■問 24 犯人はたちまち捕まった。

1. やがて
2. とうとう

3. すぐに
4. ようやく

■問 25 うっかり秘密を話してしまった。

1. 思わず
2. わざと
3. とうとう
4. あえて

■問 26 けがの回復は、おおむね順調だ。

1. とても
2. すこし
3. だいたい
4. まったく

■問 27 当分、この仕事を続けるつもりだ。

1. しばらく
2. ずっと
3. もうすぐ
4. やがて

問題 F（用法）

次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

■問 28 相変わらず

1. 彼は最近、相変わらず忙しそうだ。
2. この店は、昔と比べて相変わらずだ。
3. 昨日は雨だったが、今日は相変わらず晴れている。
4. 彼女は、相変わらずきれいになった。

■問 29 せっかく

1. せっかくの休みなのに、一日中寝てしまった。

2. せっかくなのに、もう一杯コーヒーを飲もう。
3. せっかく勉強したので、試験に合格した。
4. せっかくですが、ご招待をお受けします。

■問 30 かえって

1. 近道をしたら、かえって時間がかかってしまった。
2. 彼は頭がよくて、かえってスポーツもできる。
3. とても疲れていたのに、かえってよく眠れた。
4. このレストランは、かえってサービスがいい。

■問 31 いったん

1. この件は、いったん持ち帰って検討させてください。
2. 彼は、いったん有名になってから態度が大きくなった。
3. 私は、いったん海外へ行ったことがない。
4. 事故の原因は、いったん不明らしい。

■問 32 果たして

1. 長年の夢が、果たして実現した。
2. 彼が言ったことは、果たして本当だろうか。
3. 果たして、彼は正直な人だ。
4. 明日、果たして会いましょう。

問題 Part2 文法

問題 G（文の文法 1（文法形式の判断））

次の文の（ ）に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

■問 33 あんなに反対された（ ）、彼との結婚はあきらめられない。

1. 以上は
2. からには
3. ものの
4. だけに

■問 34 親友に頼まれたのだから、どんなに大変でも断る（ ）。

1. わけではない
2. わけだ
3. わけにはいかない
4. わけでもない

■問 35 雨の日は電車が遅れ（ ）だ。

1. げ
2. がち
3. っぽい
4. やすい

■問 36 このプロジェクトは、多くの困難を（ ）、ついに完成した。

1. 乗り越えた末に
2. 乗り越えつつ
3. 乗り越えるうちに
4. 乗り越えるところ

■問 37 あのチームが、うちのチームに勝てる（ ）ないよ。練習量が違うんだから。

1. がち

2. わけ
3. こと
4. っこ

■問 38 国民の期待（ ）、新しい政策が次々と打ち出された。

1. にこたえて
2. はもとより
3. にかかわらず
4. をめぐって

■問 39 こんな高いレストラン、毎日（ ）もんか。特別な日だけだよ。

1. 来られる
2. 来させる
3. 来る
4. 来られるもの

■問 40 彼は、成績（ ）、服装もきちんとしている。

1. はともかく
2. はかからわず
3. はさておき
4. はもちろん

■問 41 あの人はお金に細かいから、1 円（ ）無駄にしないだろう。

1. だけ
2. ほど
3. たりとも
4. など

■問 42 最近、仕事が忙しくて、旅行に行く（ ）。

1. どころではない
2. にすぎない
3. にほかならない

4. しかない

■問 43 あの温厚な彼があれほど怒る（ ）、よほどのことがあったに違いない。

1. くらいなら
2. ものなら
3. からでも
4. からには

■問 44 このまま対策を講じなければ、取り返しのつかない事態に（ ）。

1. なりかねない
2. なるにすぎない
3. なるほかない
4. なるわけがない

問題 H（文の文法 2（文の組み立て））

次の文の ＊ に入る最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

■問 45 この町の _____ ＊ _____ 進んできた。

1. 中心
2. 開発は
3. に
4. 駅前を

■問 46 環境問題は、 _____ ＊ _____ 重要な課題だ。

1. とって
2. 人類に
3. 我々
4. 地球の

■問 47 彼が _____ ＊ _____ 驚いた。

1. 急に
2. ものだから

3. 会社を
4. 辞めると言った

■問 48 どんなに _____ ★ _____ 、あきらめてはいけない。

1. としても
2. 困難
3. 挑戦し続けるべきだ
4. だ

■問 49 この件に _____ ★ _____ お聞かせください。

1. 専門家の
2. ご意見を
3. つきましては
4. 立場から

問題Ⅰ（文章の文法）

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4 から最もよいものを一つ選びなさい。

近年、日本では多くの地域で過疎化や高齢化が問題となっている。若者が都市部へ流出し、地域の活力が失われつつあるのだ。こうした状況を打破しようと、各地で「地域おこし協力隊」のような制度が導入され、都市部の若者が一定期間、地方に移住して地域の活性化に取り組む活動が注目されている。

彼ら、彼女らが地域に新しい風を吹き込むことは間違いない。しかし、その活動が本当に地域に根付く（問 50）、乗り越えなければならない壁は少なくない。一つは、地域住民との関係構築である。移住してきた若者たちが、独自の視点から地域の課題を指摘し、新しい企画を提案することは重要だ。だが、その提案が地域の人々の考えや長年培われてきた文化を（問 51）ものであってはならない。対話を重ね、互いの立場を理解しようとする姿勢が不可欠である。

また、活動期間が終了した後のキャリアも大きな課題だ。任期は最大 3 年と限られている。その間に、地域での新たな仕事を見つけるか、自ら起業する（問 52）、再び都市部へ戻らざるを得なくなるケースも多い。若者たちが定住を望んでも、それを支える経済的な基盤がなければ、地域活性化は一過性のイベントに終わってしまう（問 53）。

（問 54）、地域おこしは移住してくる若者だけに責任を負わせるのではなく、受け入れる地域側も一体となって、彼らが活躍し、そして定住できる環境を整えていく必要がある。双方の努力が結実してこそ、持続可能な地域の未来が拓けるのである。

■問 50

1. ように
2. ためには
3. ものの
4. とすれば

■問 51

1. 無視した
2. 尊重した
3. 取り入れた
4. 反映した

■問 52

1. とかで
2. など
3. かしないと
4. とかして

■問 53

1. かねない
2. にちがいない
3. はずがない
4. わけではない

■問 54

1. それでも
2. なぜなら
3. ところで
4. したがって

問題 Part3 読解

問題 J（内容理解（短文））

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4 から最もよいものを一つ選びなさい。

■問題 J-1

最近の調査によると、若者の間で「タイパ」という言葉がよく使われるという。「タイムパフォーマンス」の略で、かけた時間に対してどれだけの満足度や成果が得られたかを測る指標だ。例えば、映画を倍速で視聴したり、動画の要約だけを見たりするのも、タイパを意識した行動と言える。限られた時間の中で、できるだけ多くの情報を効率的に得たいという現代の若者の価値観が表れている。しかし、時間効率を追求するあまり、本来じっくりと味わうべき感動や思索の機会を失っているのではないかという指摘もある。

■問 55 筆者は「タイパ」についてどのように考えているか。

1. 時間を有効に使うための素晴らしい考え方だと評価している。
2. 多くの情報を得るためには、映画の倍速視聴などもやむを得ないと考えている。
3. 効率を重視する若者の価値観を示しているが、その反面、失われるものもあると懸念している。
4. じっくり時間をかけることこそが、唯一価値のある時間の使い方だと主張している。

■問題 J-2

人間は、自分が正しいと信じていることについて、それを支持する情報ばかりを集め、反対の意見には耳を貸さない傾向がある。これを「確証バイアス」と呼ぶ。インターネットの普及により、この傾向はさらに強まっていると言われる。検索エンジンや SNS は、利用者の興味に合わせて情報を表示するため、自然と自分の考えに合った情報ばかりに触れることになるからだ。多様な意見が存在することを知り、意識的に異なる視点に触れる努力をしなければ、自分の考えが偏ってしまう危険性がある。

■問 56 この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

1. インターネットは、自分と同じ意見の人を見つけやすい便利なツールだ。
2. 自分の意見を強く持つためには、反対意見を無視することが重要だ。
3. 自分の考えが偏らないように、意識して多様な意見に触れることが大切だ。
4. 「確証バイアス」は、人間が持つごく自然な傾向なので気にする必要はない。

■問題 J-3

【久留米市からのお知らせ】最近、市役所職員を名乗り、「医療費の還付金がある」などと言って ATM（現金自動預払機）を操作させ、お金をだまし取る詐欺が多発しています。市役所や社会保険事務所の職員が、電話で ATM の操作をお願いすることは絶対にありません。また、還付金の手続きで手数料を求めることもありません。「おかしいな」と思ったら、すぐに電話を切り、家族や警察（#9110）に相談してください。一人で判断せず、誰かに相談することが被害を防ぐ第一歩です。

■問 57 このお知らせによると、詐欺の被害に遭わないために最も大切なことは何か。

1. 市役所からの電話には出ないようにする。
2. 還付金の手続きはすべて自分で行う。
3. 不審な電話があった場合、一人で判断せずに誰かに相談する。
4. ATM の操作方法をよく勉強しておく。

■問題 J-4

日本の伝統的な家屋では、部屋を仕切る「ふすま」や「障子」がよく使われてきた。これらは、必要に応じて開け閉めしたり、取り外したりすることができるため、空間を柔軟に変化させることが可能だ。例えば、昼間はふすまを開けて広いリビングとして使い、夜は閉めて寝室にするといった使い方ができる。固定された壁で部屋を区切る西洋建築とは対照的な考え方であり、日本の暮らしの中に息づく、変化に対応する知恵と言えるだろう。

■問 58 「ふすま」や「障子」の特徴として、筆者は何を挙げているか。

1. 部屋を完全に密閉できる高い機能性。
2. 一度設置すると取り外すのが難しい固定性。
3. 状況に応じて空間の使い方を変えられる柔軟性。
4. 西洋建築の影響を強く受けたデザイン性。

■問題 J-5

日本では、会議でなかなか結論が出ないことがある。参加者がそれぞれの立場から意見を言うものの、積極的に議論を戦わせて合意を形成するというよりは、全体の空気を読み、反対意見を控える傾向があるからだ。これは「和」を重んじる文化の表れとも言えるが、迅速な意思決定が求められるビジネスの場面では、マイナスに働くこともある。重要なのは、対立を恐れずに意見をぶつけ合い、その中から最善の答えを見つけ出そうとする姿勢だろう。

■問 59 日本の会議について、筆者はどのような問題があると考えているか。

1. 参加者が自分の意見を全く言わないこと。
2. 議論が活発になりすぎて、まとまらなくなること。

3. 場の調和を優先するあまり、本質的な議論が避けられ、意思決定が遅れること。
4. 参加者の立場が違いすぎて、合意点を見つけるのが不可能なこと。

問題 K（内容理解（中文））

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4 から最もよいものを一つ選びなさい。

■問題 K-1

失敗を恐れるあまり、新しい挑戦をためらってしまう人は少なくない。確かに、失敗すれば時間や労力が無駄になったり、周囲から批判されたりすることもあるだろう。しかし、物事を始める前から失敗の可能性ばかりを考えていては、何も成し遂げることはできない。むしろ、失敗は成功に至るまでの貴重な学習機会と捉えるべきだ。発明王エジソンは、「私は失敗したことがない。ただ、1万通りのうまくいかない方法を見つけただけだ」と言ったという。この言葉は、失敗が単なる終わりではなく、次へのステップであることを示唆している。失敗の原因を分析し、そこから教訓を得て、次の挑戦に活かす。この繰り返しこそが、人を成長させ、最終的な成功へと導くのである。もちろん、無謀な挑戦を推奨しているわけではない。事前に十分な準備や計画を立てることは不可欠だ。だが、それでも予期せぬ問題は起こりうる。大切なのは、失敗を経験したときに、それをどう受け止め、次へと繋げていくかという姿勢なのだ。挑戦を避けて現状維持に甘んじることは、一見安全な道に見えるかもしれないが、長期的には成長の機会を自ら放棄していることに他ならない。

■問 60 筆者は、失敗をどのように捉えるべきだと述べているか。

1. 可能な限り避けるべきものであり、一度失敗したら諦めるべきだ。
2. 成功するための学習プロセスの一部であり、次への糧とすべきだ。
3. 周囲から批判される原因となるため、隠すべきものである。
4. 十分な準備をすれば完全に防げるものであり、失敗するのは準備不足の証拠だ。

■問 61 この文章の内容と合っているものはどれか。

1. エジソンは、一度も失敗せずに多くの発明を成し遂げた。
2. 新しいことに挑戦する際は、失敗の可能性を一切考えない方が良い。
3. 失敗を恐れて何もしないことは、結果的に成長の機会を失うことになる。
4. 挑戦し続けることよりも、現状を維持することの方が大切である。

■問題 K-2

近年、企業において「リスクリング」という言葉が注目されている。これは、技術革新やビジネスモデルの変化に対応するために、従業員が新しいスキルや知識を習得することを指す。特にデジタルトランスフォーメーション（DX）が急速に進む現代において、これまでの業務で培ったスキルだけでは対応できない場面が増えており、リスクリングの重要性はますます高まっている。企業がリスクリングを推進する目的は、単に人材不足を補うためだけではない。従業員一人ひとりが新しいスキルを身につけることで、組織全体の生産性や競争力を高めることができる。また、従業員にとっても、自身の市場価値を高め、キャリアの選択肢を広げるというメリットがある。変化の激しい時代において、自律的に学び続ける姿勢は、企業にとっても個人にとっても不可欠なのだ。しかし、リスクリングの推進には課題もある。業務と並行して学習時間を確保することの難しさや、何を学ぶべきかという目標設定の困難さなどが挙げられる。企業側は、学習プログラムの提供や費用の補助といった支援だけでなく、従業員が学びやすい環境を整え、学習の成果が評価や処遇に結びつくような仕組みを構築することが求められる。

■問 62 「リスクリング」が注目されている背景には何があるか。

1. 多くの従業員が、現在の仕事に満足していないから。
2. 技術革新などにより、社会が大きく変化しているから。
3. 企業が、従業員の給与を上げるための口実を探しているから。
4. 新しいスキルを学ぶことが、趣味として流行しているから。

■問 63 企業がリスクリングを成功させるためには、何が必要だと筆者は述べているか。

1. 従業員に自己責任で学習させ、その成果だけを評価すること。
2. 学習プログラムを提供するだけで、あとは従業員の自主性に任せること。
3. 従業員が学びやすい環境を整備し、学習の成果を適切に評価する制度を作ること。
4. 業務時間外に学習することを義務付け、厳しい目標を課すこと。

■問題 K-3

私たちは、日常的に多くの「決断」を迫られる。朝食に何を食べるかといった小さなものから、進学や就職、結婚といった人生を左右する大きなものまで様々だ。決断を下す際には、できるだけ多くの情報を集め、論理的に比較検討することが望ましいとされている。しかし、情報が多すぎると、かえって混乱し、どれが最善の選択なのか分からなくなってしまう「選択のパラドックス」と呼ばれる状況に陥ることもある。また、私たちは必ずしも合理的な判断だけで決断しているわけではない。時には、論理では説明できない「直感」が重要な役割を果たすことがある。長年の経験によって培われた感覚や、無意識のうちに脳が処理した膨大な情報が、直感として現れるのだ。特に、専門家が瞬時に下す判断などは、この種の直感に基づいていることが多い。もちろん、直感だけに頼るのは危険だ。思い込みや偏見が判断を誤らせる可能性もある。重要なのは、論理的な思考と直感をバランスよく組み合わせることではないだろうか。情報を集めて冷静に分析した上で、最後は自分の直感を信じてみる。そうした柔軟なアプローチこそが、後悔の少ない決断に繋がるのかもしれない。

■問 64 「選択のパラドックス」とは、どのような状況か。

1. 選択肢が少なすぎて、選ぶことができない状況。
2. 選択肢が多すぎることによって、かえって決断が困難になる状況。
3. 直感だけで判断してしまい、後で後悔する状況。
4. 論理的に考えた結果と、直感的な判断が一致しない状況。

■問 65 筆者は、より良い決断を下すために何が重要だと考えているか。

1. 可能な限り多くの情報を集め、時間をかけて分析すること。
2. 経験から生まれる直感を、何よりも優先すること。
3. 論理的な分析と直感的な感覚を、状況に応じて使い分けること。
4. 自分の思い込みや偏見を完全に排除して、客観的な事実のみで判断すること。

■問題 K-4

私たちは、他人とコミュニケーションをとる際、言葉だけを頼りにしているわけではない。表情や声のトーン、身振り手振りといった「非言語的コミュニケーション」も、重要な役割を果たしている。ある研究によれば、感情を伝える際に、相手に影響を与える要素の割合は、話の内容などの言語情報が 7% であるのに対し、声の質や大きさといった聴覚情報が 38%、そして表情や視線などの視覚情報が 55% を占めるという。このことは、たとえ言葉では丁寧な表現を使っている、不機嫌そうな表情や投げやりな口調であれば、相手には否定的な感情が伝わってしまうことを意味する。逆もまた然りで、言葉数が少なくても、穏やかな表情と温かい眼差しで相手の話を聞く姿勢は、強い信頼感や安心感を与えるだろう。近年は、メールや SNS など、文字だけでやりとりする機会が増えている。こうしたテキストコミュニケーションは、表情や声のトーンが伝わらないため、意図しない誤解を生みやすい。例えば、事務的な連絡のつもりが、相手には冷たく突き放したように感じられたり、冗談のつもりが、相手を深く傷つけてしまったりすることがある。非言語的な情報が欠落するコミュニケーションでは、いつも以上に言葉選びに慎重になり、相手の気持ちを想像する力が求められる。

■問 66 筆者によると、感情を伝える上で最も影響が大きいのは何か。

1. 話されている言葉の内容そのもの。
2. 声の大きさや高さ、話す速さ。
3. 表情や視線、ジェスチャー。
4. 論理的で分かりやすい説明。

■問 67 メールや SNS でのコミュニケーションについて、筆者はどのように述べているか。

1. 表情などが伝わらない分、言葉の意味が正確に伝わりやすい。
2. 非言語的な情報が欠けるため、誤解が生じやすく、より丁寧な配慮が必要になる。
3. 感情的な要素が排除されるため、常に冷静なやりとりができる。
4. 言葉を慎重に選ぶ必要はなく、気軽に思ったことを伝えればよい。

■問題 K-5

「もったいない」という日本語は、英語に直訳するのが難しい言葉の一つだと言われる。単に「無駄だ (wasteful)」という意味だけでは、そのニュアンスを十分に表現できないからだ。この言葉には、物の価値を最大限に活かしていきたくないことへの残念な気持ちや、物に対する感謝、そしてそれを作った人への敬意といった、複合的な感情が込められている。例えば、まだ食べられるのに食品を捨ててしまうことや、使えるものを安易に買い替えることに対して、私たちは「もったいない」と感じる。これは、その物が持つ本来の役割や価値を全うさせてあげたいという気持ちの表れだろう。この感覚は、資源が限られていた時代に育まれた、日本の伝統的な価値観に根差している。近年、この「もったいない」という考え方は、環境問題への意識の高まりとともに、世界的に注目を集めている。大量生産・大量消費の社会を見直し、持続可能な社会を築く上で、3R（リデュース、リユース、リサイクル）を包括する「もったいない」の精神は、重要な指針となりうる。単なる節約とは一線を画す、この深く豊かな言葉の精神を、私たちはこれから大切に受け継いでいくべきだろう。

■問 68 「もったいない」という言葉が単なる「無駄」と違う点として、筆者は何を挙げているか。

1. 経済的な損失だけを問題にしている点。
2. 物やそれに関わる人への感謝や敬意の念が含まれている点。
3. 新しいものを買うことを完全に否定する考え方である点。
4. 個人の感情にのみ基づく主観的な感覚である点。

■問 69 この文章で筆者が主張したいことは何か。

1. 「もったいない」は外国語に翻訳できないので、日本国内だけで使うべきだ。
2. 節約を徹底することが、「もったいない」の精神の中心である。
3. 日本人は物を捨てられないので、家の中に物があふれてしまう。
4. 環境問題などを考える上で、「もったいない」という日本の伝統的な価値観が世界的に重要になっている。

問題 L（総合理解）

次の A と B の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4 から最もよいものを一つ選びなさい。

【相談】 大学 3 年生です。現在、就職活動をしています。自分が本当に何をしたいのか分からず、悩んでいます。周りの友人たちは、次々と志望業界を決めて、インターンシップなどに積極的に参加しています。それに比べて、自分は特に「これがやりたい」という強い情熱を持てるものが見つからず、ただ焦るばかりです。業界研究や自己分析をしてみるものの、どれも中途半端で、結局「自分には何の取り柄もない」という結論に至ってしまいます。こんな状態で、社会に出てやっていけるのか、不安で仕方ありません。どうすれば、自分の進むべき道を見つけられるのでしょうか。（ペンネーム：リク）

【A さんの回答】 リクさん、お悩お察しします。多くの学生が同じような悩みを抱えていますよ。まず、「やりたいことが見つからない」と自分を責める必要はありません。無理に「これだ」というものを見つけようとせず、少し視野を広げてみてはどうでしょうか。「好き」や「得意」から仕事を探すのも良いですが、「嫌いではない」「これならできそう」という少し低い視点から考えてみるのも一つの手です。また、完璧な状態で社会に出る人はいません。働きながら、経験を積む中で、本当にやりたいことが見えてくることも多いのです。まずは少しでも興味が持てる会社の説明会に参加してみるなど、小さな一歩を踏み出してみましょう。

【B さんの回答】 その焦り、よく分かります。しかし、周りと比較するのはやめましょう。就職活動は、他人との競争ではありません。自分と向き合う良い機会と捉えるべきです。リクさんに提案したいのは、徹底的な自己分析のやり直しです。なぜなら、自分の価値観や強みが明確でないままでは、どの会社を選んでも後悔する可能性があるからです。これまでの人生を振り返り、楽しかったこと、夢中になったこと、困難を乗り越えた経験などを具体的に書き出してみてください。その中に、あなたの核となるものが隠れているはずです。時間はかかるかもしれませんが、この作業を丁寧に行うことが、結果的に納得のいく道を見つける一番の近道だと思います。

■問 70 リクさんの悩みに対して、A さんと B さんは、どのようにアドバイスしているか。

1. A さんはまず行動してみることを勧め、B さんはまず自己分析を徹底することを勧めている。
2. A さんは自己分析の重要性を説き、B さんはインターンシップへの参加を勧めている。
3. 二人とも、周りの友人と同じように、早く志望業界を決めるべきだと助言している。
4. 二人とも、やりたいことが見つからないなら、就職活動を一度やめるべきだと助言している。

■問 71 A さんと B さんのアドバイスに共通している考え方は何か。

1. やりたいことは、社会に出てからでないと見つからないという考え。
2. 周囲の状況に流されず、自分のペースで進めるべきだという考え。
3. 強い情熱を持てる仕事を見つけることが最も重要だという考え。
4. 自分の得意なことだけを仕事に選ぶべきだという考え。

問題 M（主張理解（長文））

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4 から最もよいものを一つ選びなさい。

現代社会は、かつてないほど「便利」になった。スマートフォン一つあれば、買い物も、友人との連絡も、世界中の情報収集も、瞬時にできてしまう。移動手段も発達し、一日あれば国内のほとんどの場所へ行くことが可能だ。このような利便性の向上は、私たちの生活から多くの時間的、身体的な制約を取り払い、豊かな暮らしをもたらしたことは間違いない。

しかし、この「便利さ」の裏側で、私たちが失いつつあるものはないだろうか。私は、その一つが「プロセスを経験する価値」ではないかと考えている。例えば、料理を考えてみよう。今では、電子レンジで温めるだけの冷凍食品や、材料がすべて切られた状態で届く料理キットがある。これらは非常に便利で、忙しい現代人にとってはありがたい存在だ。だが、旬の食材を選び、自分で工夫して調理し、時には失敗しながらも一つの料理を完成させる、というプロセスの中には、単に空腹を満たす以上の喜びや学びがある。食材の旬を知り、調理法の科学を学び、段取りを考える思考力を養う。そして何より、手間ひまかけた料理を誰かと分かち合う喜びは、便利だけの食事では決して味わえないものだ。

これは、コミュニケーションにおいても同様のことが言える。SNS を使えば、いつでもどこでも気軽に友人と繋がれる。しかし、その手軽さゆえに、一つ一つのコミュニケーションが軽くなってはいないだろうか。相手の時間をいただき、約束を取り付け、顔を合わせて話をする。そこには、移動の手間や時間の調整といったコストがかかる。だが、そのコストをかけるからこそ、その対話の時間が貴重なものとなり、相手への敬意も生まれる。画面越しの短いメッセージのやりとりでは得られない、深い相互理解や共感が、そこには存在する。

もちろん、私は便利さをすべて否定し、昔の不便な生活に戻るべきだと主張したいわけではない。便利なテクノロジーがもたらす恩恵は計り知れない。問題なのは、私たちが便利さにあまりにも慣れきってしまい、その「便利」という選択肢しか考えられなくなることだ。効率やスピードのみを価値の基準とし、時間や手間のかかるプロセスをすべて「無駄」なものとして切り捨ててしまう風潮に、私は危うさを感じる。時には、あえて遠回りを選ぶ勇気が必要なのではないだろうか。目的地に最短距離で着くことだけが、人生の豊かさではない。道端に咲く花に気づいたり、偶然の出会いがあったり、道を間違えたからこそ見える景色があったりする。便利さが提供してくれる「結果」だけでなく、手間や時間がかかる「プロセス」そのものを味わい、楽しむ。その意識を持つことが、画一的になりがちな現代社会において、人間らしい豊かさを取り戻す鍵になるのではないだろうか。

■問 72 筆者は、料理を例に挙げて何を説明しようとしているか。

1. 便利な料理キットは、忙しい現代人にとって必要不可欠なものであること。
2. 料理は、手間や時間をかけるプロセスの中に、喜びや学びがあること。
3. 自分で料理をするよりも、冷凍食品の方が栄養バランスが取れていること。
4. 料理の最大の目的は、空腹を効率的に満たすことであること。

■問 73 筆者が現代社会の「便利さ」について懸念していることは何か。

1. 便利になったことで、人々が昔の生活の知恵を忘れてしまうこと。
2. スマートフォンなどのテクノロジーが、人々の健康を害すること。
3. 効率を重視するあまり、手間のかかるプロセスの価値が見過ごされがちであること。
4. 便利な生活に慣れると、災害時などの不便な状況に対応できなくなること。

■問 74 この文章で、筆者が最も主張したいことは何か。

1. 現代の便利なテクノロジーの使用を全面的に禁止し、昔ながらの生活に戻るべきだ。
2. 効率や結果だけでなく、時間や手間のかかるプロセスそのものを楽しむ意識が、人間的な豊かさに繋がる。
3. SNS でのコミュニケーションは誤解を生みやすいため、直接会って話す以外の方法を避けるべきだ。
4. 人生において最も重要なのは、いかに無駄を省き、最短で目標を達成するかということだ。

問題 N（情報検索）

次の「久留米市立中央図書館 利用案内」を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4 から最もよいものを一つ選びなさい。

久留米市立中央図書館 ご利用案内

久留米市立中央図書館は、市民の皆様の学習と文化活動を支援するための施設です。どうぞお気軽にご利用ください。1. 開館時間

- ・ 火曜日～金曜日：午前10時～午後8時
- ・ 土・日・祝日：午前10時～午後6時

2. 休館日

- ・ 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日が休館）
- ・ 年末年始（12月28日～1月4日）
- ・ 館内整理日（毎月最終木曜日）
- ・ 特別整理期間（年1回、10日間程度。日程は別途お知らせします）

3. 利用者登録

- ・ 図書館の資料を借りるには、「図書館カード」が必要です。
- ・ 登録できる方：
 - － 久留米市に在住・在勤・在学の方
 - － 福岡都市圏（※注）にお住まいの方
- ・ 必要なもの：氏名、住所が確認できる証明書（運転免許証、健康保険証、学生証など）
 - － 在勤・在学の方は、それが証明できるもの（社員証、学生証など）も併せてご提示ください。
- ・ 図書館カードは、市内全館で共通して利用できます。有効期限は5年です。

（※注）福岡都市圏の対象市町村については、館内掲示またはウェブサイトをご確認ください。

4. 貸出・返却

- ・ 貸出点数と期間：
 - － 図書・雑誌：合わせて10冊まで、2週間
 - － CD・DVD：合わせて2点まで、2週間
- ・ 貸出期間の延長：
 - － 貸出期間内に、1回に限り延長ができます（手続きした日から2週間）。
 - － ただし、次に予約が入っている資料や、返却期限を過ぎた資料は延長できません。
 - － 電話または館内の利用者用検索機（OPAC）、ウェブサイトから手続き可能です。
- ・ 返却：
 - － 市内のどの図書館でも返却できます。
 - － 図書館が閉まっている時は、「返却ポスト」をご利用ください。ただし、CD・DVDなどの視聴覚資料は破損の恐れがあるため、必ず開館時間中にカウンターへお返しください。

5. 予約・リクエストサービス

- 貸出中の資料は、予約することができます。資料が返却され次第、ご連絡します。
- 当館に所蔵がない図書は、購入または他の図書館から借用するなどして、できる限りご提供します（リクエストサービス）。ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。
- 予約・リクエストは、図書・雑誌が合わせて 10 冊まで、CD・DVD が 2 点までです。

■問 75 キムさんは、久留米市内の会社に勤めているが、隣の市に住んでいる。キムさんがこの図書館で初めて本を借りるためには、どうすればよいか。

1. 住んでいる市の図書館でカードを作れば、この図書館でも利用できる。
2. 住所がわかる運転免許証だけを持って、カウンターに行き、カードを作る。
3. 住所がわかる運転免許証と、久留米市内で働いていることがわかる社員証を持って、カウンターに行き、カードを作る。
4. 久留米市に住んでいないので、この図書館で本を借りることはできない。

■問 76 図書館の利用について、内容と合っているものはどれか。

1. 借りたい本が貸出中だったので、次の人の予約がなければ、電話で貸出期間を延長してもらうことができる。
2. 日曜日の夜 7 時に、借りていた本 5 冊と DVD1 枚を返却するため、図書館の返却ポストを利用した。
3. 読みたい本が 8 冊あったので、すべて借りた。その 2 日後、さらに雑誌を 3 冊借りようとしたが、できなかった。
4. 毎週月曜日は必ず休みなので、月曜日が祝日の場合は、図書館を利用することができない。